

【児童・地域の実態】

- ・ 仲間と楽しく学校生活を送る子が多い。
(児童アンケート「学校が楽しい」85%、「誰にでも優しくなりたい」90%)
- ・ 主体的な学びや学習の定着に個人差が見られる。(児童アンケート「授業が楽しい」75%、「授業が分かりやすい」80%)
- ・ 運動能力が全国平均より低い。
- ・ 固定された人間関係が主体性、協調性を伸ばす阻害要因の一つとなっている。
- ・ 地域の高齢化、保護者の意識の多様化に伴い、地域や家庭との連携の在り方に改善が必要となってきた。

【願う子どもの姿】

『自分もハッピー、周りもハッピーになるために、考え自己決定できる』

- 自分の良さの自覚と自己肯定感の向上
 - ・ 自分の良さを見つけ主体的に伸ばしていくことを通して、自信を深め、なりたい大人に近づこうとすることができる
- 相手意識の向上
 - ・ 周りも幸せになるために自分ができていることを考え、共によりよいものをつくり出そうすることができる
- 確かな学力の定着
 - ・ 個々の適性に応じ、予測不能な未来を生きぬくために必要な学力を身につけることができる

【市の方針と重点】

【岐阜市教育大綱 ～基本方針～】
学校・家庭・地域の誰もが、生命の尊厳を理解し、互いに心を開く対話を重ね、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進する。
【第4期岐阜市教育振興基本計画】
希望あふれる未来を自ら拓く力を育む教育

教育目標

自分の夢をもち 自他の幸福のために考えて行動する子

重点項目

考える子

わかることの楽しさを感じ
自ら問題を解決します

- ・ 子どもが主役の授業づくり
(主体的な問題解決: 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実)

- 「聞く」「話す」「書く(ノートづくり)」の段階的な指導
- ぎふMIRAI'sでの探究活動充実
- ICT機器の効果的な活用を通じた情報活用能力の育成
- 標準学力検査等による定着度の客観的把握と指導
- 読書の習慣づけ
→ 「授業が楽しい」、「授業が分かりやすい」90%以上

今年度の重点

校訓
「百花の魁」

思いやる子

よりよいものをみんなで
つくりだします

- ・ 自分もハッピー、周りもハッピーになるためにできることを考え行動できる環境づくり

- うめっこ班活動の充実
- 異学年交流の推進
- 委員会活動の充実
- いじめを見逃さない指導の継続
- 教師の価値付け、方向付けを基盤とし、児童の良さ見つけの視点を向上
→ 「誰にでも優しくなりたい」90%以上

今年度の重点

元気にやりぬく子

自分をよく知り、たくましい
心とからだをつくります

- ・ 健康を基盤とし、目標をもち、活動後に振り返ることを大切にしたい心とからだづくり

- 当たり前を見直し、目的を明確にした活動づくりの徹底
- 成長ができるような活動のめあてづくりと活動の振り返りの充実
- 晴れのハッピータイムは全員外に出て遊ぶ等、健康的な心身づくりの推進
- 給食残量が減る食育指導の充実
→ 「目標をもって取り組み、活動後に振り返ることができる」90%以上

今年度の重点

取り組み基盤

地域とともにある学校！

家庭・地域とつながり
その教育力を大切にします

- ・ 地域との教育資源とつながる教育活動の推進
- ・ 学校の教育活動の積極的な公開・広報
- ・ コミュニティ・スクールの意図的・計画的な関わり

教職員が元気で笑顔！

働き方改革の中
全職員の健康・資質向上を目指します

- ・ 働き方改革を進め「笑顔で子どもの前に立つ」意識の徹底、考える時間の確保
- ・ 同僚性を高める全職員の意識、資質向上
- ・ 円卓(全員)会議で熟議し、主体的な指導改善

学校のエデュケーションリソース

【梅林中校区の小・中、幼保の連携】

幼保・小・中学校や関係機関との連携

【家庭との連携】

うめサポ活動を通じた保護者との連携

【地域との連携】

地域人材、諸機関との協働と有効な活用

【コミュニティ・スクールとして】 梅林小学校運営協議会・学校支援推進委員会(うめサポ活動)

地域・社会貢献ができる人材、社会形成能力の育成を視点に、地域と学校の協働の在り方を模索しつつ、学校機能を有効に果たす